

中央公民館からのお知らせ

申込/問い合わせ 横越町中央3丁目2番8号
 385-2043 FAX385-4431
 Email kouminkan@town.yokogoshi.niigata.jp
 開館時間 火~日曜日 午前9時~午後10時
 月曜日 午前9時~午後5時

受講生募集中!! 平成16年度公民館講座

- 保育支援者養成講座
- 初級 版画教室
- すくすく学級
- 初級 英会話教室
- 絵本講座
- 語り部養成講座
- おもしろ女性塾
- 横越の歴史講座
- 婦人学級

定員などについては4月に全戸配布された「平成16年度イベント・講座情報」をご参照になるか、中央公民館までお問い合わせください。

~お知らせ~

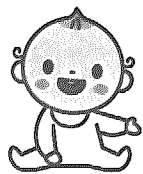
パソコン教室には、多くの申し込みありがとうございました。受講される方には、案内文を送付します。



すくすく学級のご案内

~みんな笑顔で一緒に笑いあえる 子育てをしませんか~

- ◆日程 6月2日~7月14日までの毎週水曜日
- ◆時間 午前10時~12時
- ◆対象 乳幼児を子育て中の方
- ◆内容
 - 6月2日 はじめまして、一緒にあそぼう
 - 9日 子どもの気持ち・親の気持ち
 - 16日 アロマでリフレッシュ
 - 23日 先輩ママと話そう!
 - 30日 けがや事故の予防と処置
 - 7月7日 絵本とわらべうた
 - 14日 子どもの栄養 (調理実習)
- ◆場所 中央公民館 学習室
- ◆定員 20名 (保育ルーム有り 定員12名) 1回100円・生後6ヵ月以上
- ◆募集締切 5月19日(水)



公民館窓口にある「講座申込書」に記入してお申し込み下さい。ホームページでも講座を紹介しています。
<http://www.town.yokogoshi.niigata.jp/notice/kouminkan/>

中央公民館の図書室をご利用ください。

貸し出しは1人5冊まで、期間は2週間です。(新刊は2冊まで1週間)
 絵本や紙芝居、小説、大きい活字の本など、いろいろな内容のものがありますので、ぜひご利用ください。

さつき展 出品募集

- ◆開催日 6月5日(土) 午前9時~午後5時
6日(日) 午前9時~午後1時
- ◆資格 町内在住又は町内事業所勤務のさつき愛好家
- ◆出品数 一人8点まで
- ◆申込先 中央公民館
- ◆締切 5月31日(月)まで
- ◆搬入 6月5日(土) 午前8時~9時
- ◆搬出 6月6日(日) 午後1時~
- ◆その他 出品者にはもれなく記念品を進呈します。規定など、詳しくは中央公民館にお問い合わせください。



木版画をしてみませんか?

中央公民館では、初級版画教室の受講生を募集しています。この機会にぜひ木版画の楽しさを知ってください!

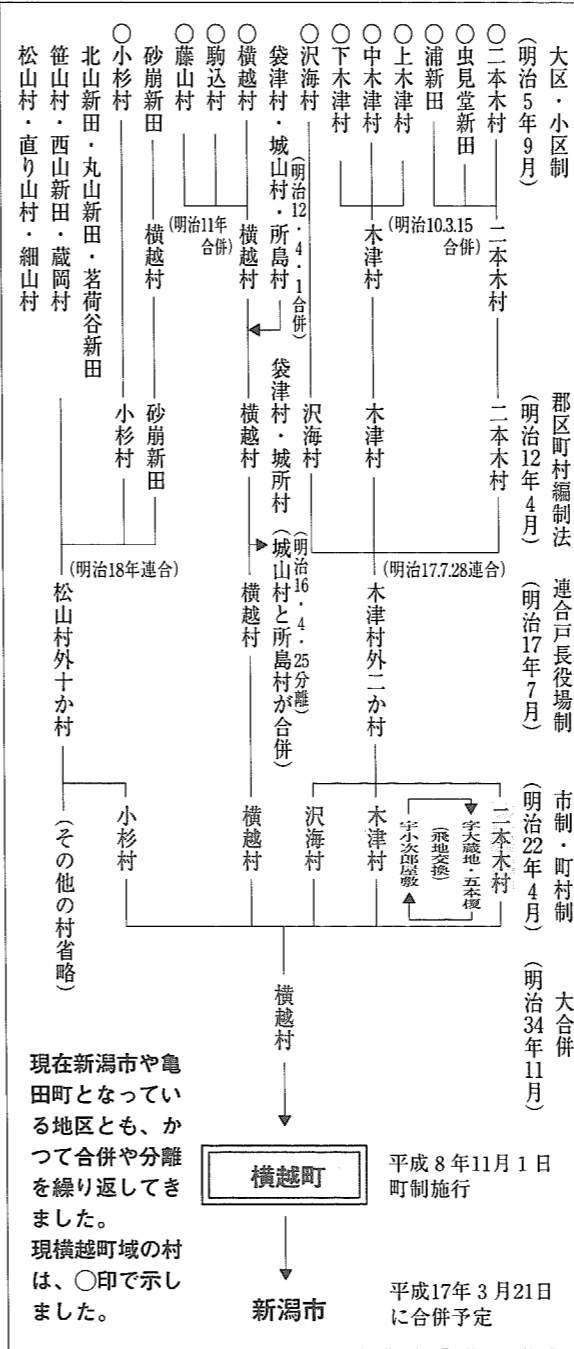
- ◆日程 6月~来年3月 第3木曜日 (10回)
- ◆時間 午後1時30分~3時
- ◆費用 材料費として1作品500円程度 (道具は各自で用意。無い方は斡旋します)
- ◆講師 清野修治先生 (二本木)

どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。



(平成13年度 生徒作品)

横越町域における合併の変遷



現在新潟市や亀田町となっている地区とも、かつて合併や分離を繰り返してきました。現横越町域の村は、○印で示しました。

横越歴史探訪③

統合と分離を繰り返して横越村誕生

横越町の歩んだ道を振り返ってみよう
 横越町域における合併の変遷
 県内町村数4,800
 合併の山高まる
 明治維新直後、江戸時代の幕藩体制にとって代わった新政府は、明治4年(1871年)に廃藩置県を実施しますが、様々な欠陥が表面化して

きたことから、これを是正する目的で、明治11年(1878年)、郡区町村編制法を公布して、府県→郡→町村という行政統治機構を固めました。
 ところが、国の地方町村に対する委任事務の増加や教育、土木関係の国庫補助金が廃止されるな

どといった事情により、とりわけ町村の教育費(公立学校費用など)、土木費の負担が急激に増加し、財政的な理由から郡区町村編制法施行後、全国的に町村の合併が叫ばれるようになりました。
 当時の国内では、100戸未満の町村が全体の7割を占め、一町村あたりの人口が550人にも及ばないところもありました。新潟県内のみならず、全国的にも、内務省統計報告(明治21年12月現在)によると、実に4,819町村で、全国第1位。市制移行は新潟市(明治22年4月から)のみという状況でした(現在の

5か村合併で横越町の基礎となる

町村制が施行された明治22年(1889年)、横越、沢海、木津、二本木、小杉の各村は、それぞれ独立した村となり、これに伴い、各村々には村役場が置かれました。農村では、土地の売買が盛んになり、中から大地主などが

生まれるようになりました。その後、全国で村々の合併が盛んに行われました。この地域での合併については、郡長案では当初、横越・小杉村を1つ、沢海・木津・二本木村を1つとする案がありましたが、この合併案では不都合なことが多いことから、阿賀野川・小阿賀野川沿いに発展してきた5か村が明治34年11月1日に合併し、新「横越村」が誕生。県内では合併について紛争中の町村があった中で、自治の発展を期したいということで住民から異論はなく、5か村は円満に合併にこぎつけ、通津寺において合併の式典を行いました。合併直前の人口は、横越村(3,465人、577戸)、沢海村(1,550人、220戸)、木津村(1,077人、201戸)、二本木村(1,105人、146戸)、小杉村(1,291人、246戸)でした。

第二次世界大戦後、昭和の大合併が行われたことにより、ほぼ現在の市町村の区域ができました。
 しかし、横越村(当時)は、明治34年の大合併時の姿をほぼとどめながら、この市町村とも合併せずに現在に至っています。